

あの日、街は…

1995年1月17日午前5時46分

阪神・淡路大震災発生



炎に包まれ、延焼する神戸市兵庫区
松本通の民家(95年1月17日)



焼け野原になった神戸市長田区の水笠公園付近(95年1月30日)



曲がりくねった線路、急ピッチで
復旧が進む阪神電車(95年1月21日)

教育の創造的復興10年と明日への歩み

その時、学校は…

多くの学び舎も傷ついた
毎日使っていた机やイス
慣れ親しんだ教室、グラウンド
授業も、大好きな部活動も
できなくなった



県立伊丹北高等学校図書室



校舎の2階以上が焼失した神戸市立烏帽子中学校



芦屋市立朝日ヶ丘小学校2階廊下



グラウンドに亀裂が生じた芦屋市立打出浜小学校



西宮市立上ヶ原中学校校舎支柱に亀裂(1階)

避難所となった学校

学校へ行こう、仲間がいる
大人も子どもも学校をめざした
18万人を超える人々が
学校に避難した
体育館も教室も廊下も校庭さえも
人でいっぱいになった



広がる火煙を見上げながら、不安な表情の住民ら
(95年1月17日、神戸市長田区、神戸市立御蔵小学校)



通信機能がマヒ、小学校に設置された仮設電話で、必死に連絡しようとする被災者
(95年1月18日、神戸市長田区、神戸市立蓮池小学校)



全国から寄せられた救援物資。日用品などを求める市民が詰めかけた(95年2月7日、神戸市兵庫区、御崎公園)



避難者で埋まった神戸市長田区の神戸市立神楽小学校体育館。避難者はピーク時、31万7千人に達した(95年1月22日)

再会、共に生きる

かけがえのない生命を知った
あたりまえのことが
どれほど大切かを学んだ
助け合うことの素晴らしさも感じた
自分には何が出来るだろう
みんなの笑顔のために
みんなの元気のために



授業再開で犠牲者に黙とうする児童ら（神戸市兵庫区、神戸市立会下山小学校）



被災地の小学校などでは連日、ボランティアが炊き出しをした。3つの大がまで味噌汁をつくる（神戸市兵庫区、神戸市立水木小学校）



県立兵庫高校は、県立鈴蘭台高校に間借りして授業を再開した。クラスメートとの再開に笑顔が戻った（95年2月8日、神戸市北区、鈴蘭台高校）



飲み物を被災者に渡す子どもボランティア（神戸市兵庫区、神戸市立明親小学校）



待ちわびた授業再開
 希望の明日へ一歩また一歩
 もう会えない友の分も
 今日を、大切に生きよう

廊下にまで机を並べて勉強する児童。この時は黒板が使えず、プリント学習が中心となる(95年3月、尼崎市立武庫南小学校)



グラウンドは仮設校舎前のわずかなスペースしか使えないが、児童は元気いっぱい(95年3月、尼崎市立武庫南小学校)



仮設住宅が学校のグラウンドを埋めた(95年3月2日、芦屋市潮見町、芦屋市立潮見中学校)

倒壊家屋の道を入試会場へ向かう受験生(95年2月1日、西宮市神呪町)



新たな旅立ち

悲しみを乗り越え
巣立ちゆく者たち
たくさんの励ましを胸に
仲間入りする者たち
春が来て、そして夏
みんなの心に
思いやりの花が咲けばいい



テントを張って行われた卒業式(95年3月24日、神戸市東灘区、神戸市立福池小学校)



更地に咲いたヒマワリを見ながら登校する子どもたち。「がれきの街にヒマワリを」と種を配る運動が起こった(神戸市長田区御蔵通)



中庭で行った卒業式(95年3月14日、神戸市中央区、神戸市立神戸生田中学校)



プレハブ校舎で3回目の入学式。新1年生を祝う(97年4月9日、神戸市東灘区、神戸市立本山第二小学校)



仮設住宅から恒久住宅へ、引っ越しボランティアが活躍、トラックに荷物を積み込む（97年7月5日、神戸市北区鹿の子台北町、北神第一仮設住宅）

ボランティア活動

気がつけば体が動いていた
 自然に手を差し伸べていた
 助けることで癒されることもある
 真心と真心の交流は
 「ボランティア元年」といわれた
 僕たちも私たちも動こう
 大好きな街へ出よう



震災1500日を前に、住民が開いた「ふれあいセンターお別れ会」（99年2月23日、神戸市兵庫区、御崎仮設住宅）



機動隊の訓練を体験する中学生（02年11月13日、神戸市須磨区妙法寺、県警機動隊）



神戸市立吉田中学校生徒による心肺蘇生術も披露された防災訓練（05年3月15日、神戸市兵庫区、神戸市立和田岬小学校）

みんなで考えよう
生命のこと 地球のこと
同じ苦しみや悲しみを
少しでもなくすために
貴重な体験をした私たちだから
できることがある



神戸市立多聞東小学校3年生と一緒に防災マップ作りに取り組む県立舞子高校環境防災科の第1期生(02年12月、神戸市垂水区)



泥だらけになりながら台風23号の被災地でボランティアに汗を流す県立舞子高校環境防災科の生徒たち(04年10月23日、豊岡市)



流入した円山川の濁流で水に浸かった住宅地(04年10月21日午後2時、豊岡市今森)



新潟県中越大地震の被災地川口町へ学用品を送った(相生市立中央小学校)



震災で亡くなった友のめい福を祈り、手作りの花を手向ける児童ら(01年1月17日、芦屋市精道町、芦屋市立精道小学校)

祈り、未来へ

あなたの温もりと優しさを
いつまでも忘れない
失ったものは多いけれど
得たものはもっと大きい
だから、力強く歩き出そう
震災を越えて
新しい明日に向かって



兵庫県公館で行われた阪神・淡路大震災10周年追悼式典。1.17メモリアル特別編成オーケストラの演奏にあわせ、西宮少年合唱団が献曲を捧げる。指揮は、佐渡 裕・兵庫県芸術文化協会美術監督(05年1月17日)



亡くなった児童のめい福を祈り、復興の鐘を鳴らす児童と教師ら(04年1月17日、西宮市高木西町、西宮市立高木小学校)



西宮市役所や県立文化体育館(神戸市長田区)などを出発点とする東西5コースに、約4,200人が参加した「1.17ひょうごメモリアルウォーク2005」(05年1月17日)



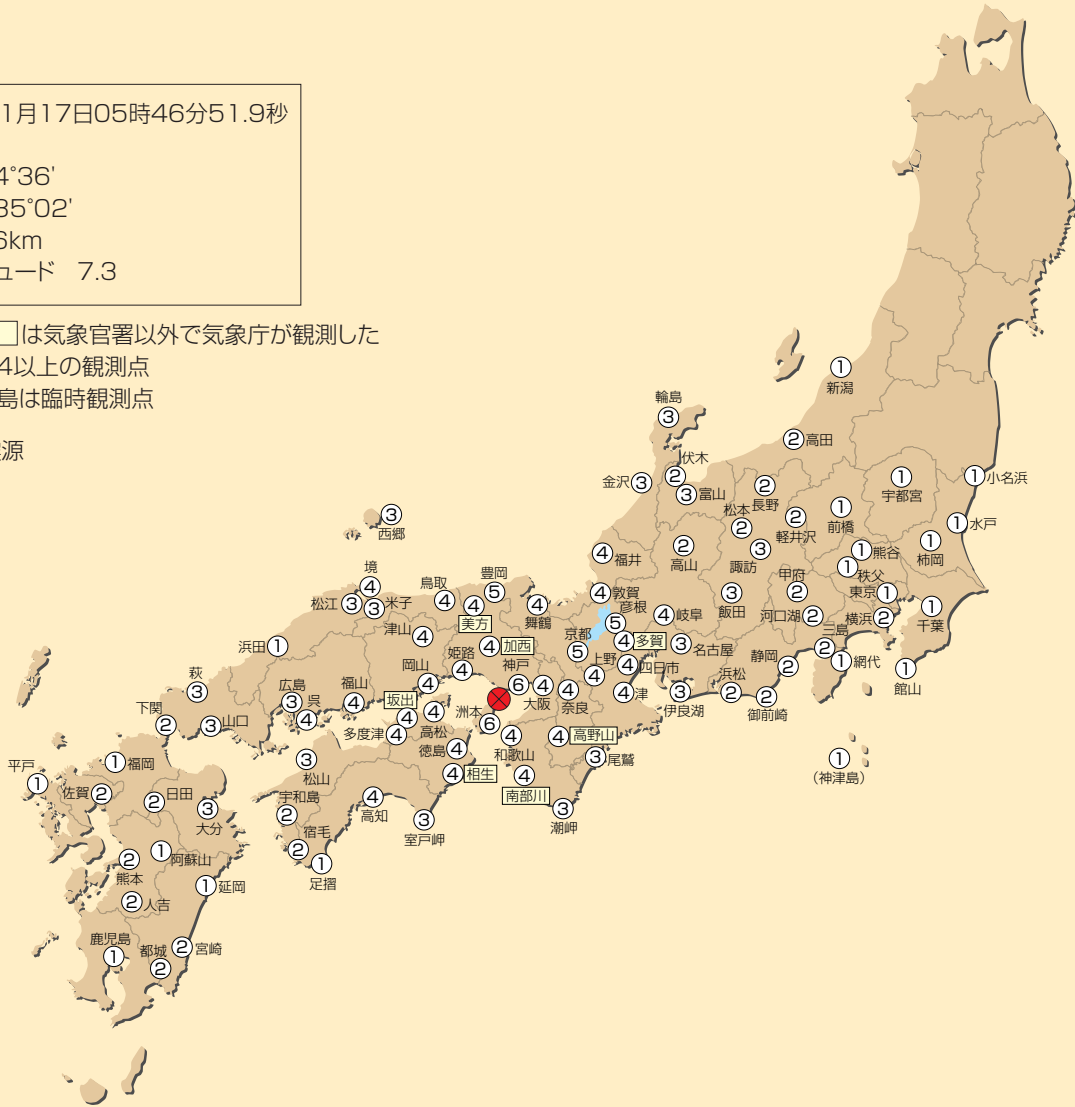
21世紀の防災戦略について5日間にわたって議論された国連防災世界会議でお言葉を述べられる天皇陛下(05年1月18日～22日)

阪神・淡路大震災の概要

震源と震度分布

1995年1月17日05時46分51.9秒
 淡路島
 北緯 34°36'
 東経 135°02'
 深さ 16km
 マグニチュード 7.3

注) ●□は気象官署以外で気象庁が観測した
 震度4以上の観測点
 ●神津島は臨時観測点
 ⊗は震源



震度7の地域



(『平成8年版 今日的气象業務』気象庁編1996年6月による)

■震度の大きさと発生時の状況

気象庁震度階級関連解説表								
計測震度	震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物	鉄筋コンクリート造建築物	ライフライン	地盤斜面
0.5	0	人は揺れを感じない						
	1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる						
1.5	2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる	電灯などが、わずかに揺れる					
2.5		眠っている人の一部が、目を覚ます						
3.5	3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる恐怖感を覚える人もいる	棚にある食器類が、音を立てることがある	電線が少し揺れる				
4.5	4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする眠っている人のほとんどが、目を覚ます	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる座りの悪い置物が、倒れることがある	電線が大きく揺れる歩いている人も揺れを感じる自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる				
5.0	5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする一部の人は、行動に支障を感じる	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある	窓ガラスが割れて落ちることがある電柱が揺れるのが分かる補強されていないブロック塀が崩れることがある道路に被害が生じることがある	耐震性の低い住宅では壁や柱が破損するものがある	耐震性の低い建物では壁などに亀裂が生じるものがある	安全装置が作動し、ガスが遮断される家庭があるまれに水道管の被害が発生し、断水することがある(停電する家庭もある)	軟弱な地盤で亀裂が生じることがある山地で落石、小さな崩壊が生じることがある
5.5		5強	非常な恐怖を感じる多くの人が、行動に支障を感じる	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちるテレビが台から落ちることがあるタンスなど重い家具が倒れることがある変形によりドアが開かなくなることがある一部の戸が外れる	補強されていないブロック塀の多くが崩れる据付が不十分な自動販売機が倒れることがある多くの墓石が倒れる自動車の運転が困難となり、停車する車が多い	耐震性の低い住宅では壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある	耐震性の低い建物では壁、梁(はり)、柱などに大きな亀裂が生じるものがある耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生することがある(一部の地域でガス、水道の供給が停止することがある)
6.0	6弱	立っていることが困難になる	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する開かなくなるドアが多い	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する	耐震性の低い住宅では倒壊するものがある耐震性の高い住宅でも壁や柱が損壊するものがある	耐震性の低い建物では壁や柱が損壊するものがある耐震性の高い建物でも壁、梁、柱などの大きな亀裂が生じることがある	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生する(一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある)	地割れや山崩れなどが発生することがある
6.5		6強	立っていることができず、はわないと動くことができない	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する戸が外れて飛ぶことがある	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる	耐震性の低い住宅では倒壊するものが多い耐震性の高い住宅でも壁や柱がかなり損壊するものがある	耐震性の低い建物では倒壊するものがある耐震性の高い建物でも壁や柱が破戒するものがある	ガスを地域に送るための導管、水道の排水施設に被害が発生することがある(一部の地域で停電する広い地域でガスや水道の供給が停止することがある)
7	7	揺れにほんろうされ自分の意志で行動できない	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものがある	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する補強されているブロック塀も破損するものがある	耐震性の高い住宅でも傾いたり、大きく破壊するものがある	耐震性の高い建物でも傾いたり、大きく破壊するものがある	(広い地域で電気、ガス、水道の供給が停止する)	大きな地滑りや山崩れが発生し、地形が変わることがある

※ライフラインの()内の事項は、電気、ガス、水道の供給状況を参考として記載したものである

被害の全容

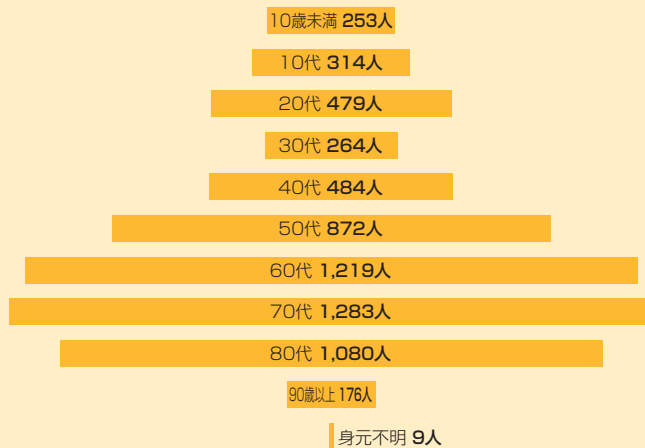
■人的被害

	総数	兵庫県
死者	6,433人	6,401人
行方不明者	3人	3人
負傷者	重傷	10,683人
	軽傷	33,109人
	計	43,792人

(03年末、消防庁まとめ)



■年齢別死者



(神戸新聞社が関係市町提供のデータを基に独自集計、04年5月現在)

■市町別死者



■物的被害

		総数	兵庫県
住家被害	全壊	104,906棟	104,004棟
		186,175世帯	182,751世帯
	半壊	144,274棟	136,952棟
		274,182世帯	256,857世帯
	小計	249,180棟	240,956棟
		460,357世帯	439,608世帯
	一部損壊	263,702棟	—
計	512,882棟	—	

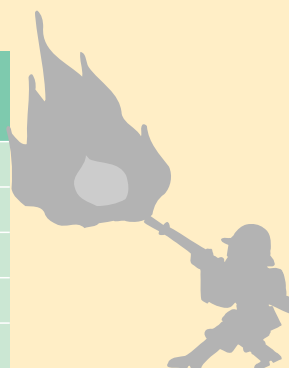
(03年末、消防庁まとめ)



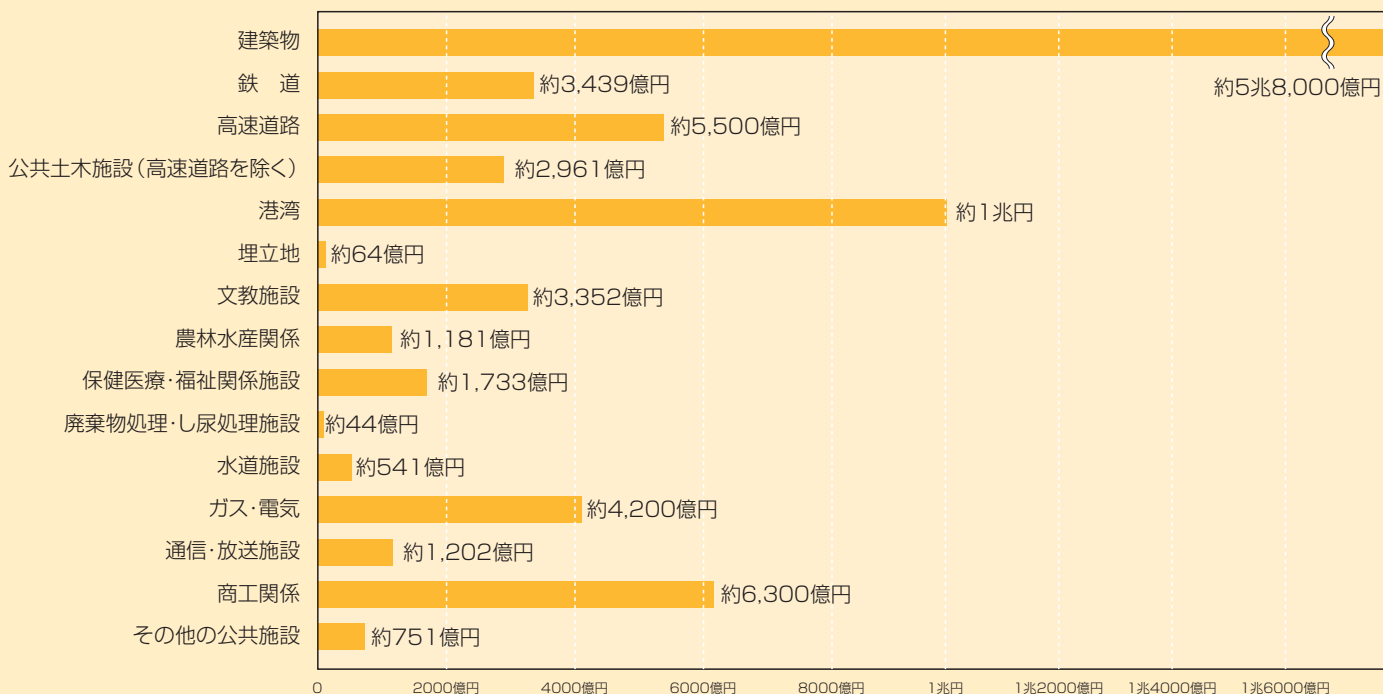
■火災による被害

	住家	非住家		計
		公共建物	その他	
全焼	6,148棟	5棟	829棟	6,982棟
半焼	69棟	—	20棟	89棟
部分焼	238棟	6棟	55棟	299棟
ぼや	103棟	1棟	9棟	113棟
計	6,558棟	12棟	913棟	7,483棟

(03年末、消防庁まとめ)



■直接的被害全体の状況

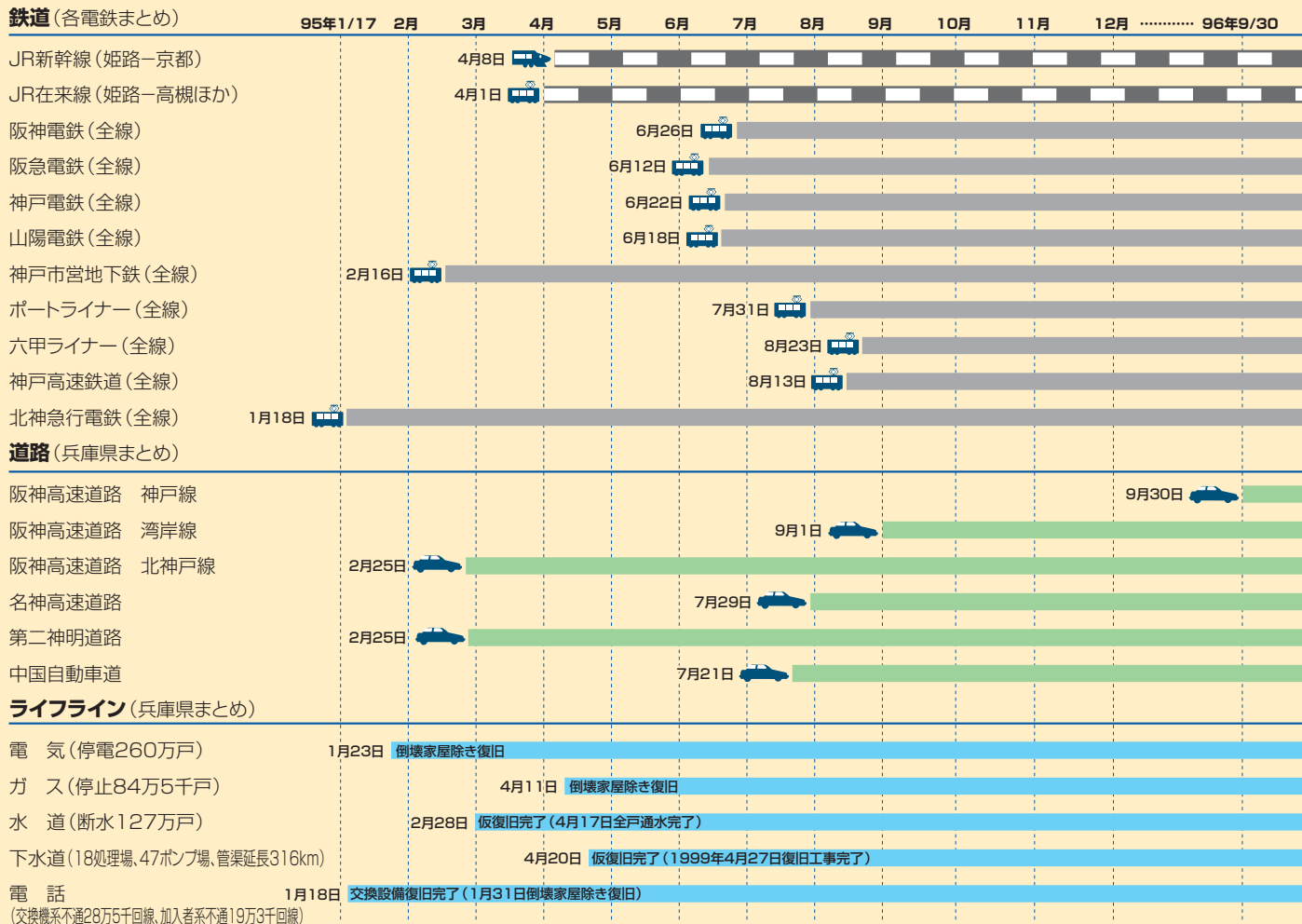


計 約9兆9,268億円

(兵庫県まとめ、95年4月)

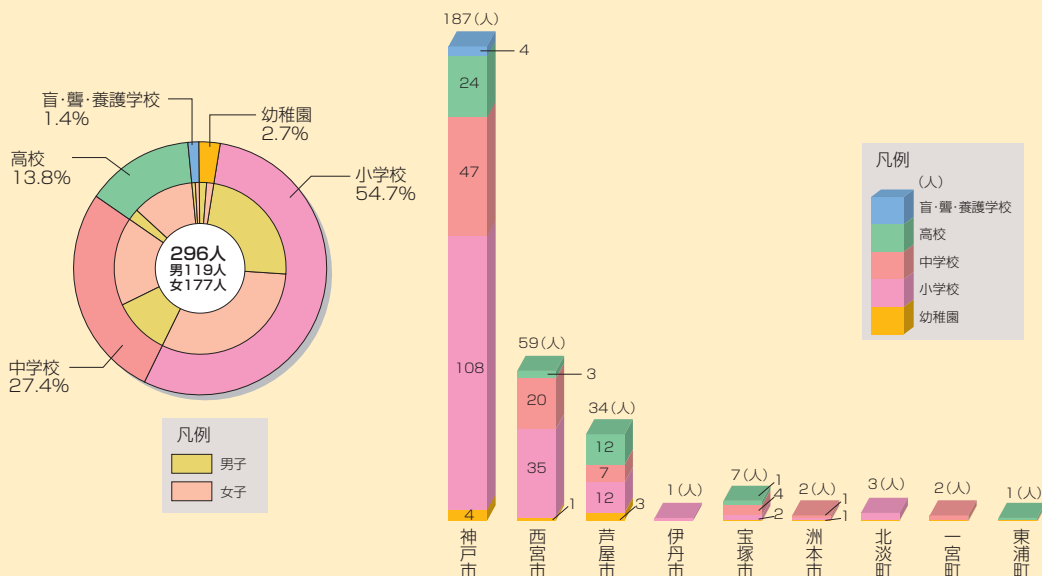
被害と復旧状況

復旧または全線開通日

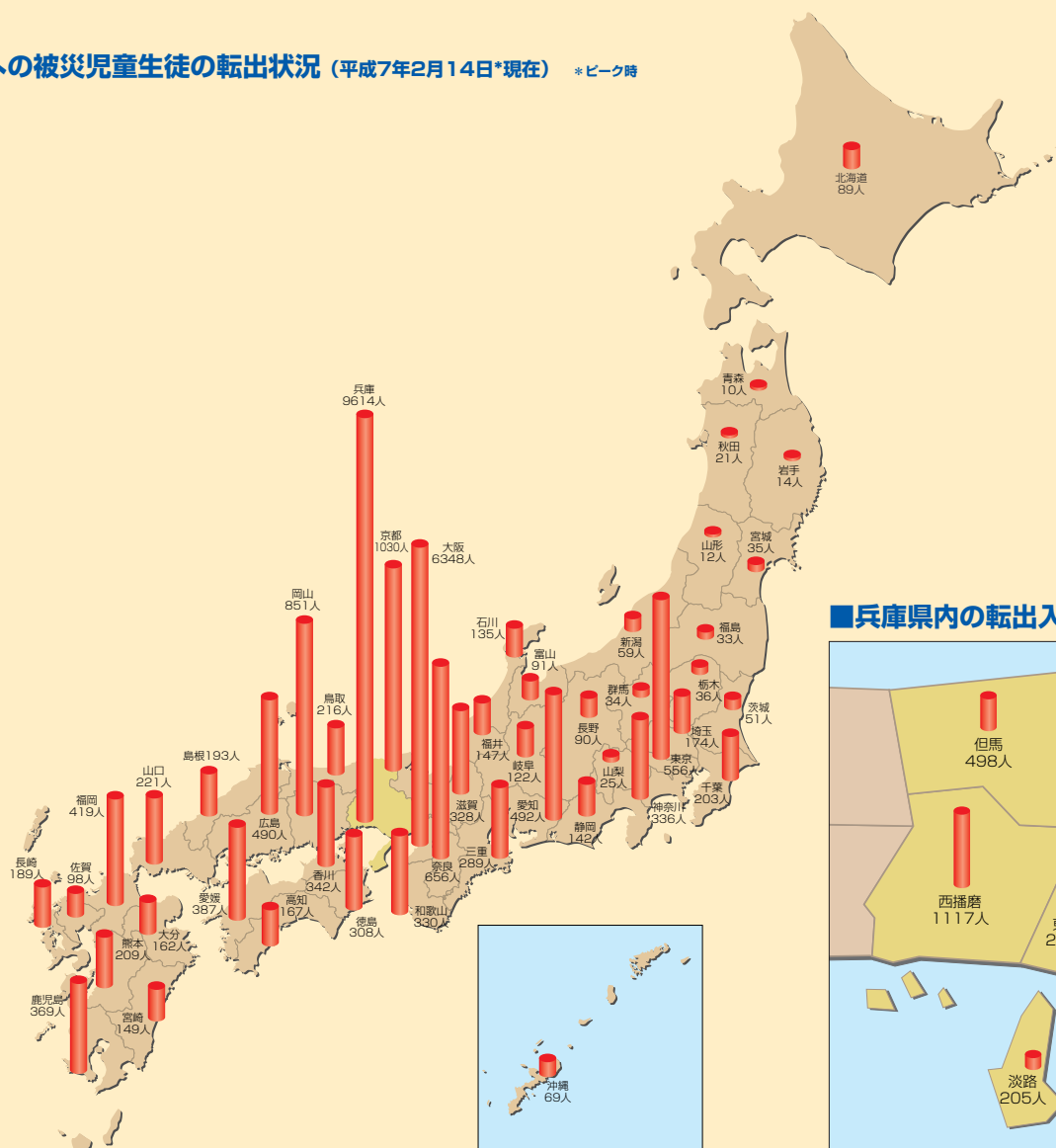


学校関係の被害

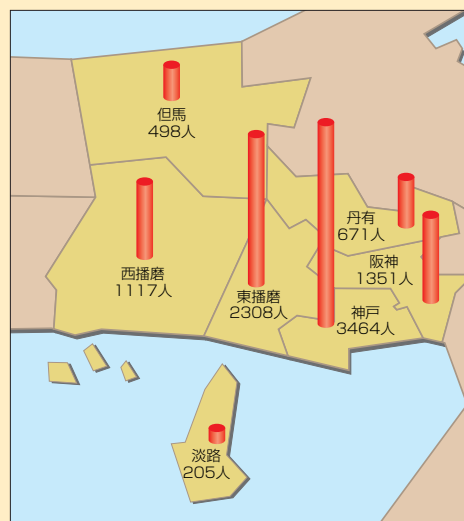
■地震で亡くなった児童生徒数 (公立学校の園児・児童・生徒) (平成7年3月31日現在)



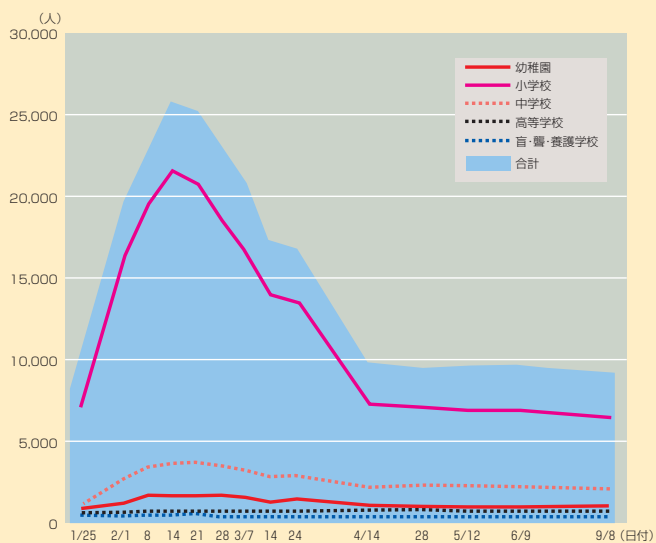
■全国への被災児童生徒の転出状況（平成7年2月14日*現在） *ピーク時



■兵庫県内の転出入状況

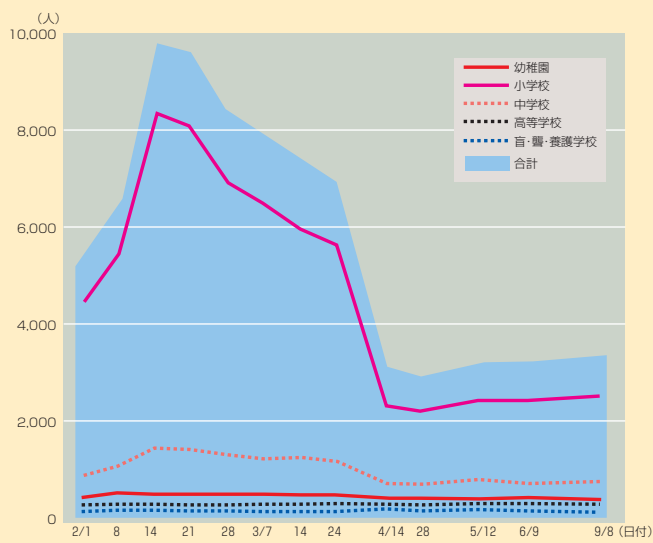


〔全国へ転出した児童生徒数の推移〕

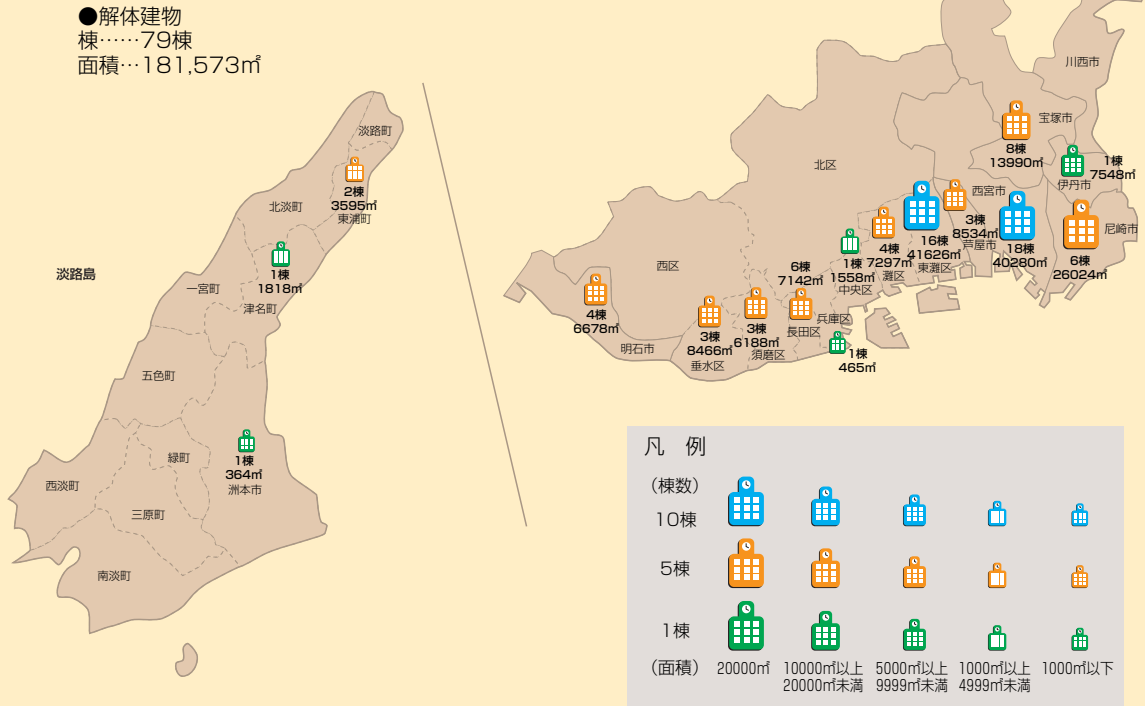


〔参考〕ピーク時2月14日26,341名

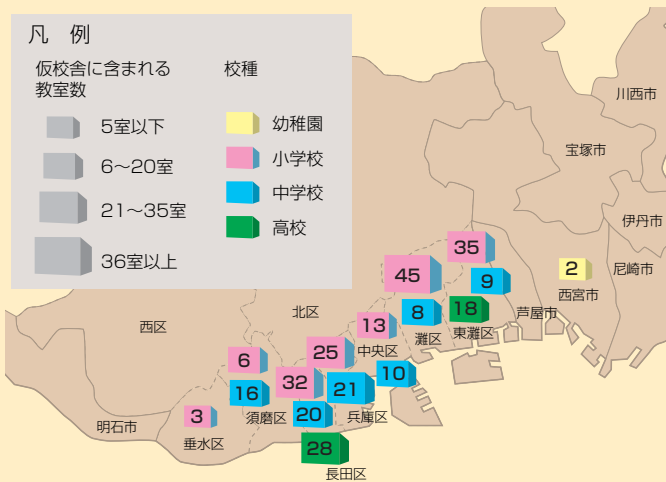
〔兵庫県内へ転出した児童生徒数の推移〕



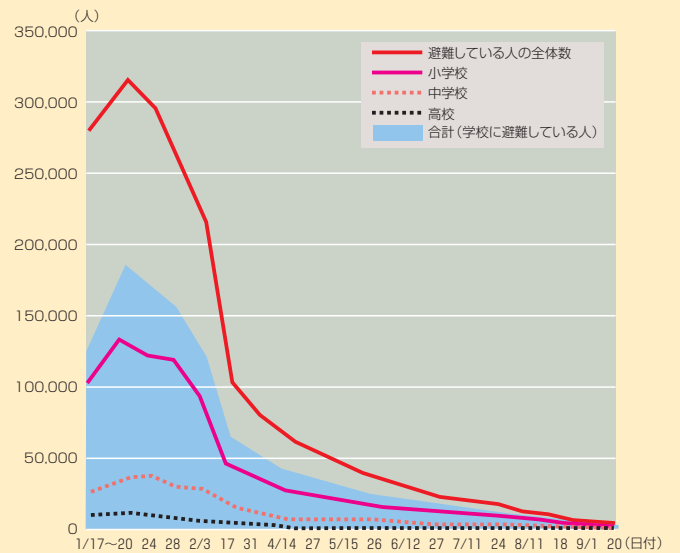
校舎など解体建物棟数・面積（区・市町別）



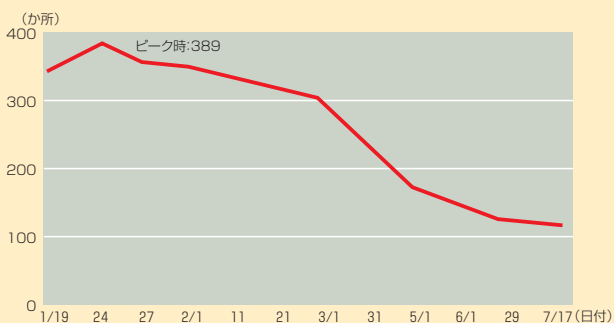
被災者の受け入れに伴う仮設校舎の設置



避難者数の推移（全体）



避難所となっている学校の数



学校の敷地内に設置された仮設住宅

